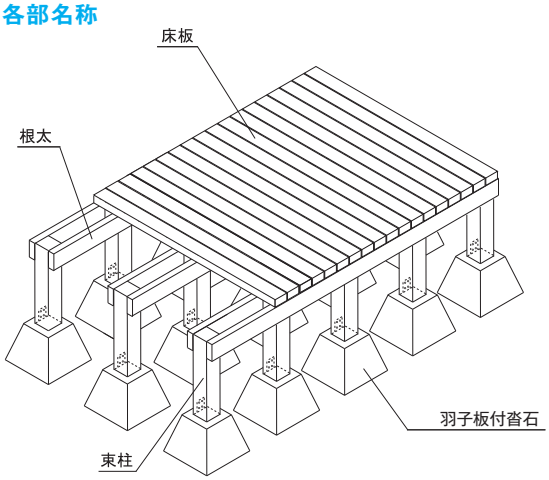
エコアコールウッド（根太仕様）

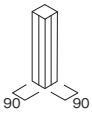
施工要領

■ 部材各部名称

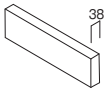


■ 材料一覧

●束柱 90角



●床板・根太・幕板
（幅130・90・180）

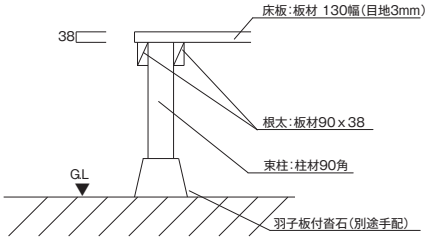


※節、欠けがあるものは
裏返しをするなどし、
選んでご使用下さい。

●タッチアップ塗料
＊スタンダードカラー・アンティークカラーのみ
（小・大）

●コーススレッド（組み立てビス）
（30本入り）　長さ65mm

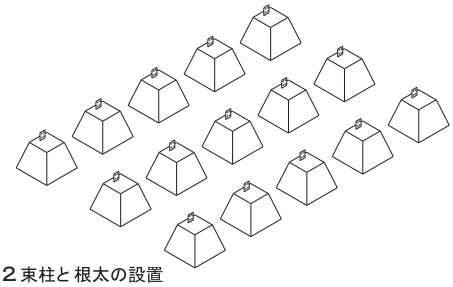
■ 参考断面図



■ 施工手順

1. 地盤整備

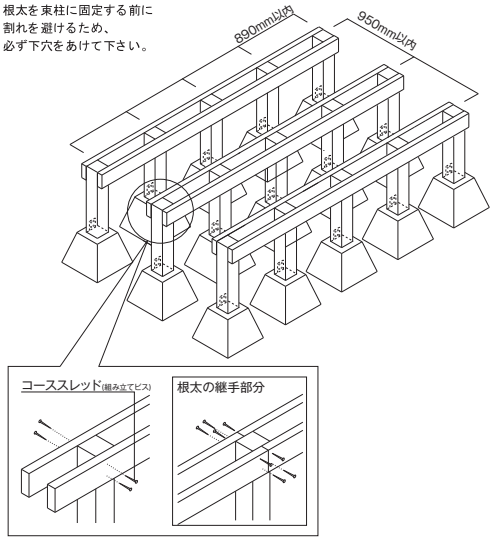
●地面を十分に転圧し、水平に調節して下さい。
●羽子板付沓石（別途手配）を配置して下さい。



2 束柱と根太の設置

●束柱のピッチ及び根太ピッチは出幅方向は950ｍｍ以内、間口方向は890mm以内として下さい。
●束柱は、必要に応じて希望の長さに切断して下さい。
●コーススレッド(組み立てビス)で根太を束柱に固定して下さい。

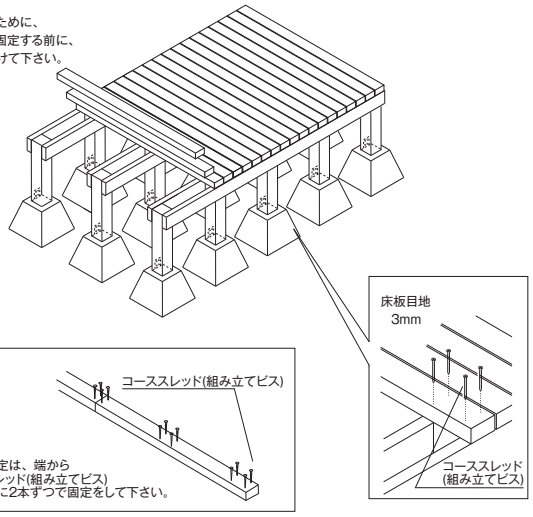
注 意
根太を束柱に固定する前に
割れを避けるため、
必ず下穴をあけて下さい。



3. 床板の取付け

●２列目以降はスペーサーを用いて3mm隙間(目地)をあけ、床板上面から
根太に向かって、コーススレッド(組み立てビス)で固定して下さい。

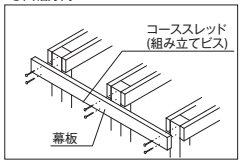
注 意
割れを避けるために、
床板をビスで固定する前に、
必ず下穴をあけて下さい。



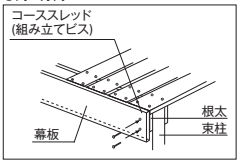
4. 幕板の取付け

●幕板に下穴をあけてから、コーススレッド(組み立てビス)で固定して下さい。
●出幅方向は束柱に2本、間口の外側幕板にも束柱のある位置へ2本ずつで固定して下さい。

●出幅方向



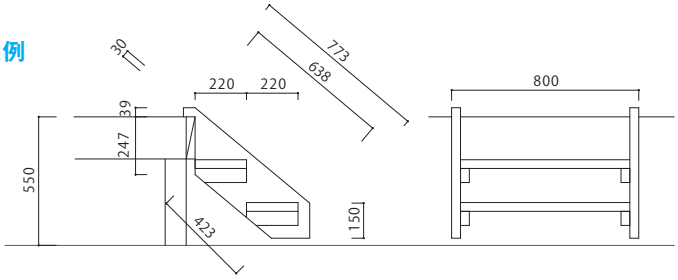
●間口方向



5.タッチアップ塗装

必要に応じて床板等の表面、木口にタッチアップ塗装をして下さい。

■ 参考 階段施工例



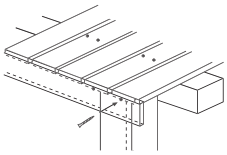
38×220×800~850 4枚　→　L=4000　1枚
38×90×220~250　4枚　→　L=3000　1枚
ビス　65mm　26本　　→　1袋

ウッド

アマゾンジャラ／ウリン

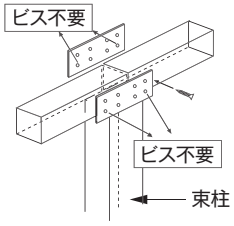
■ デッキ部品及び納まり図

■幕板の取付け

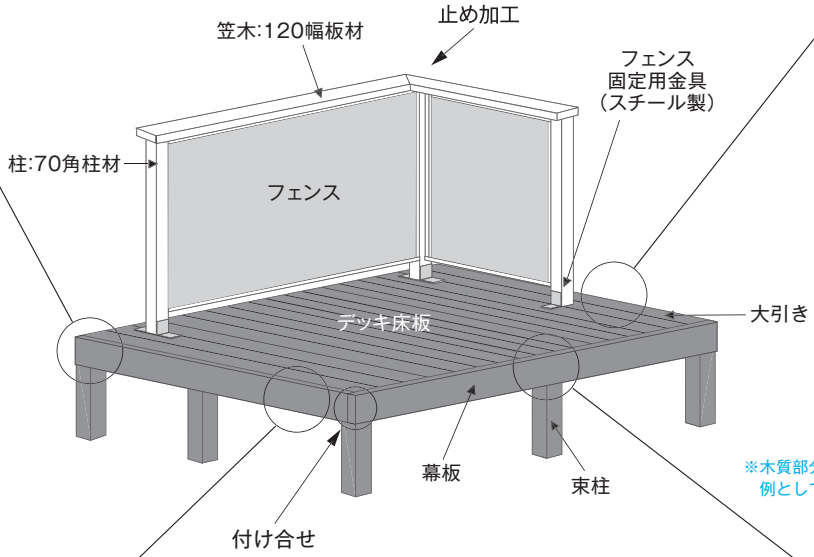


束柱に対し、ビスを2本の間隔で幕板に下穴を開け、ビス(5×52)を打ち付けていきます。

■束柱と大引きの連結取付け

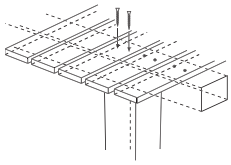


金具のビスに合わせて下穴を開け、ビス(M5×30)を12本打付けて下さい。表側の2箇所のビスは不要になります。



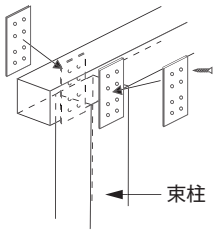
※木質部分にはすべて
例としてウリン材を使用しております。

■大引と床板の取付け



大引上の床板に4mmの下穴を開け、ビス(5×52)を2本づつ、全箇所に打ち付けて下さい。床板と床板の隙間は、5mmを基準にしております。

■束柱と大引きの通常の取付け

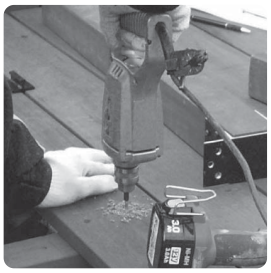


金具のビス穴に合わせて下穴を開けビス(M5×30)を16本打ち付けて下さい。

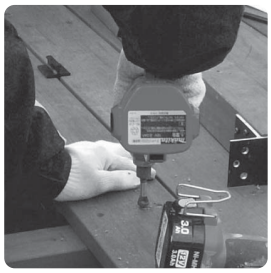
デッキについてのご案内

※束柱・大引き・フェンスの柱は、全て70mm角で統一しております。(ウリンは90角材のご用意があります。)
※板材及び柱材は表示寸法より20～40mm程度長いため必要に応じて現場で切断加工して下さい。
※板材20×105mmの場合、束柱ピッチは間口方向900mm以下、出幅方向の650mm以下にして下さい。
※板材30×120mmの場合、束柱ピッチは900mm以下にして下さい。

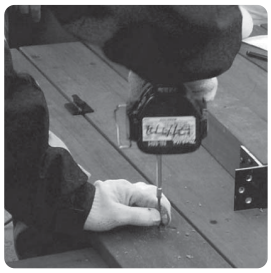
皿ビスによる床板固定



木工用ドリルで大引も共に下穴を
開けます。



皿取りキリでテーパー加工します。
※床板の皿取り加工は、大きく
取りすぎないよう注意して下さい。



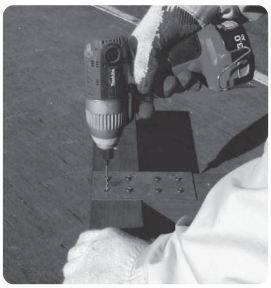
床板取付ビス（5 ×52）で固定。

使用工具
皿取錐
（ドリルキーパー付き）

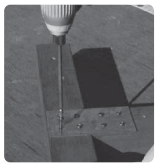
下穴開けに便利なドリルキーパー付
皿取錐も取り扱っております。
詳しくは総合カタログP307を
ご確認下さい。

※樹液が雨水などにより溶け出し周辺に付着することがありますので、下記の点に注意して下さい。
1. 切断加工する場所には、シート等で養生し切り粉が散乱しないようにして下さい。
2. 下穴開け加工等で発生した切り粉は、集塵機などで清掃して下さい。

束柱と大引の通常の接合



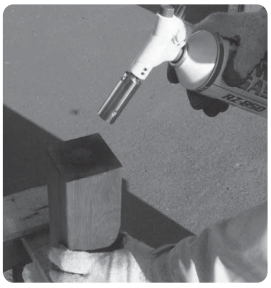
4mm 木工ドリルで下穴加工。



ビス止め（M5 ×30）

※非常に硬い木ですのでビスを打つ場合は、必ず下穴開け加工をして下さい。

切断部の小口処理

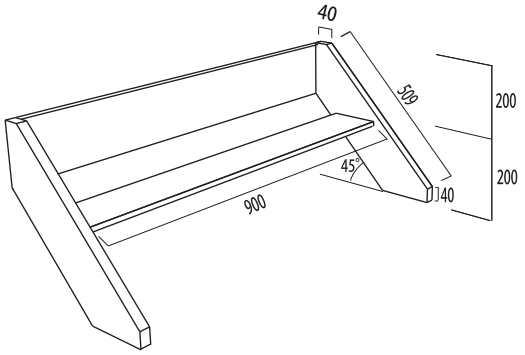


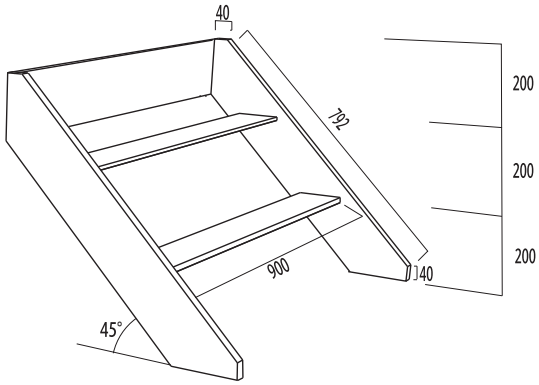
※切断面は、必ず市販のロウとバーナーを使用して小口処理して下さい。

アマゾンジャラ／ウリン ステップ

【ステップの施工要領】

■ ステップ取付金具仕様





アルミアングル
40×40×70L

アルミアングル
40×40×25L

平ワッシャー

ナット

皿ビス 5.0×40

トラビス 5.0×30

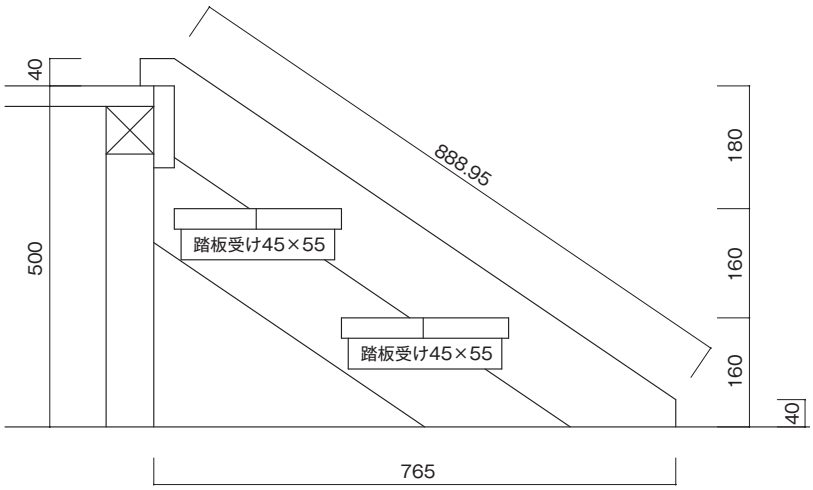
カールプラグ

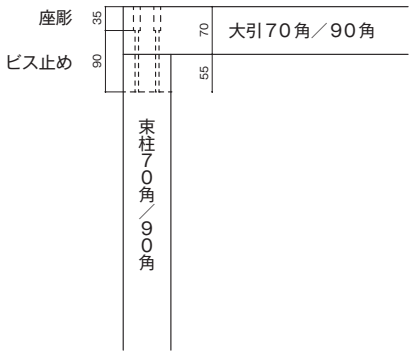
ビス 5×52

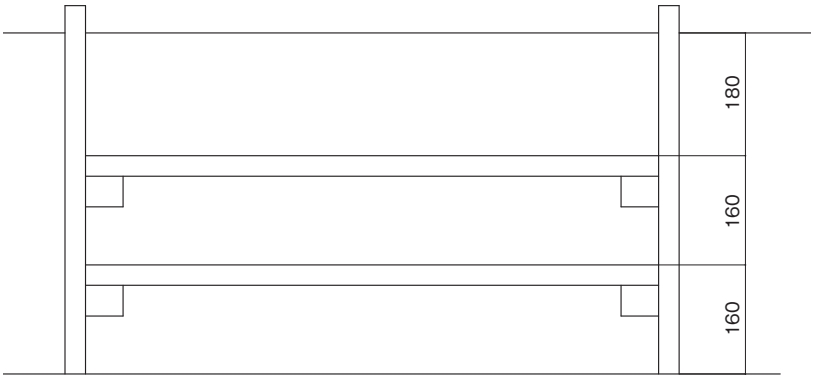
コード	部材名	規格	色	必要数	
				1段用	2段用
	床板	1800 × 120 × 30		2	1
	床板	2700 × 120 × 30			1
M9273	1段用部品セット	アングル 40 × 40 × 70L	ブラック	2	4
		アングル 40 × 40 × 25L	ブラック	2	2
		皿ビス 5.0 × 30	ブロンズ	4	8
		皿ビス 用ナット	ブロンズ	4	8
		皿ビス 用平ワッシャー	ブロンズ	4	8
		トラビス 5.0 × 30	ブロンズ	4	4
		トラビス用カールプラグ		2	2
M9163	板材取付ビス	5 × 52		11	15

※ビス5×52は、1セット/160本入り(M9163)の販売になります。
※床板は、現場に合わせて切断及び加工して下さい。

■ ステップ取付金具を使用しない場合

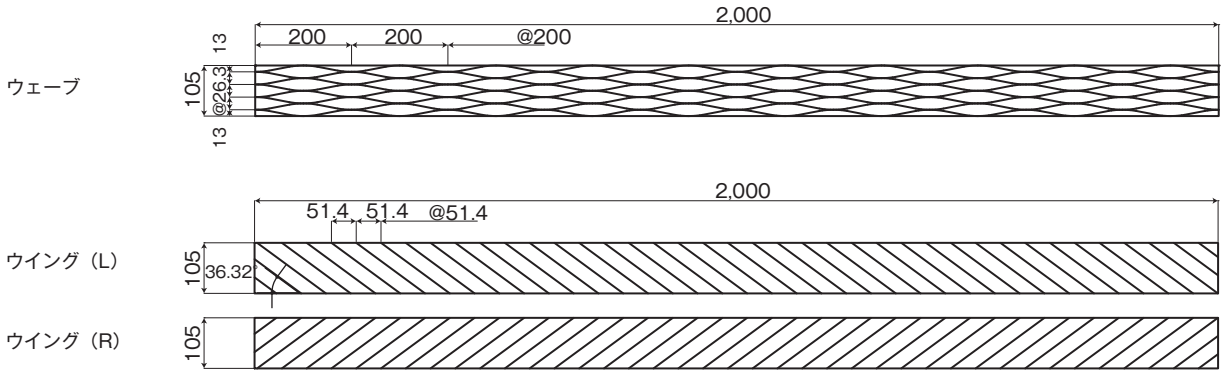






寸法図

ピールドウッド

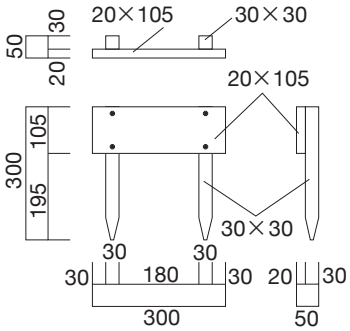


木製品（ウリン）

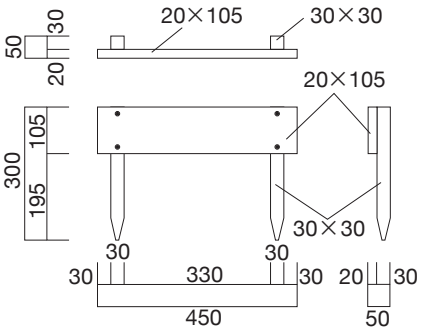
【段々花壇】

1型

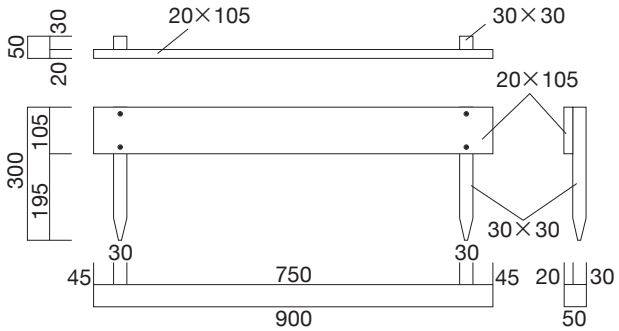
20×105×300　1枚貼（H300）



20×105×450　1枚貼（H300）

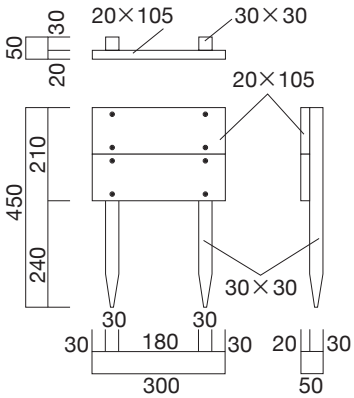


20×105×900　1枚貼（H300）

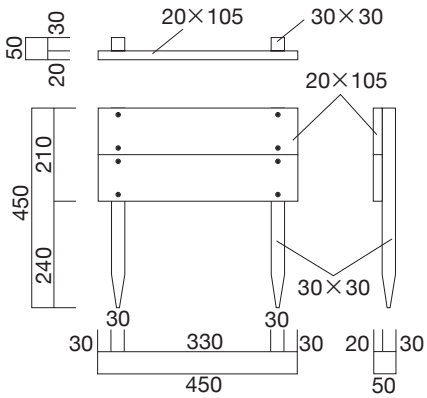


2型

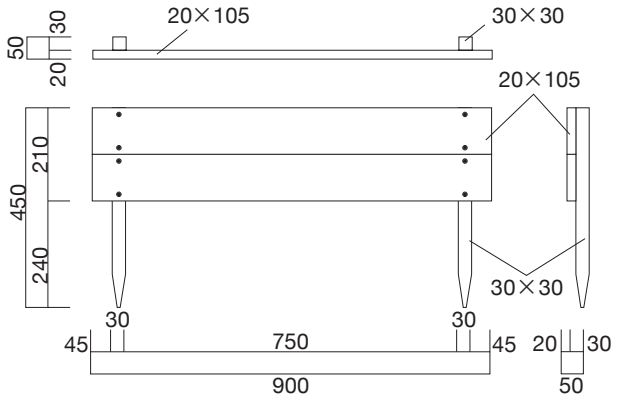
20×105×300　2枚貼（H450）



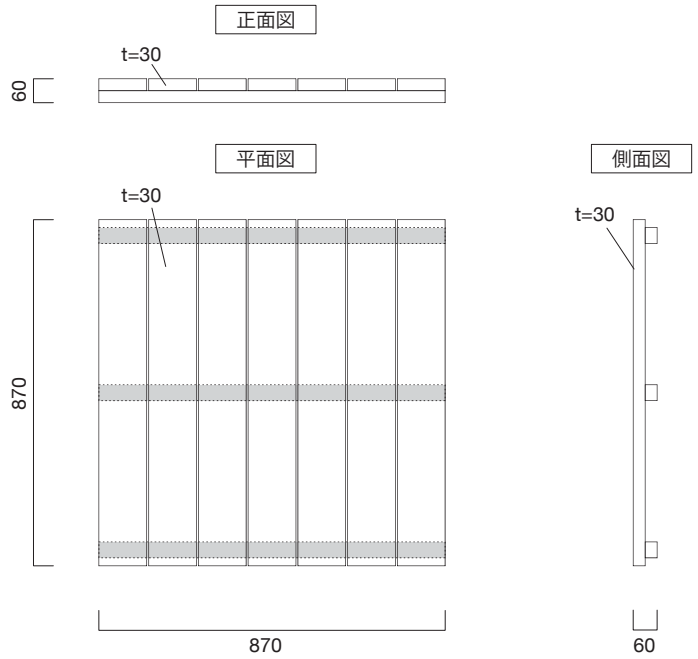
20×105×450　2枚貼（H450）



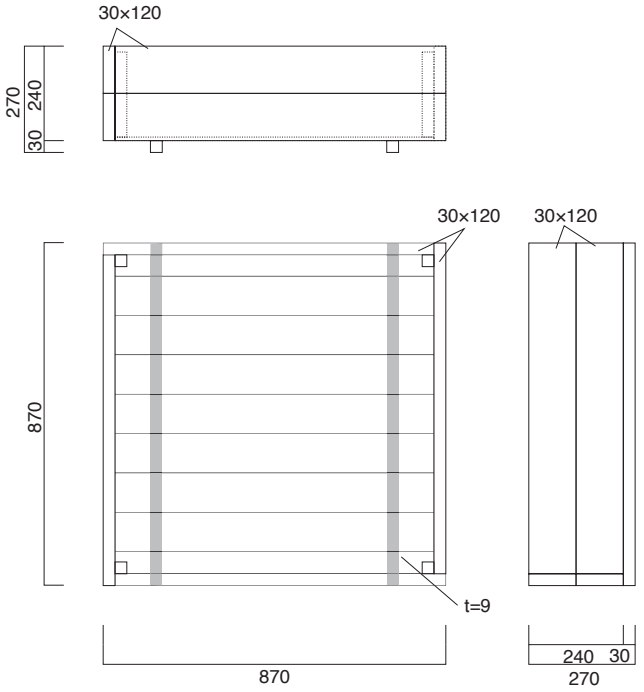
20×105×900　2枚貼（H450）



【イージーデッキパネル】



【イージーフラワーボックス】



いろは（国産自然塗料）

施工要領

■ 使用上のご注意

・ご使用前に容器をよく振り、十分に混ぜて下さい。
・「いろはカラー（着色タイプ）」の場合、缶の底に顔料が沈殿していますので、棒などでよく混ぜた後、容器をよく振り動かして顔料を均一の状態にして下さい。
・ペンキなどの古い塗膜は必ずサンドペーパー等により完全に取り除いて下さい。
・素材は含水率２０％以下の木材に使用して下さい。
・雨や水洗い等で木材が濡れた状態で塗装しないで下さい。
・木材の種類により仕上がりの色が異なりますので、必ず試し塗りをして色を確認して下さい。
・室内に使用する場合、塗布後ウエスで十分な拭き取りをおこなって下さい。
・「いろはカラー（着色タイプ）」は塗装後しばらくの間、洋服などに色が付着することがありますのでご注意下さい。
・床面等日常触れる部分に「いろはカラー（着色タイプ）」を使用する場合、木材表面に塗料が残らないようにウエスでしっかりとすり込みをおこない、上塗りとして「いろはクリア（無色）」を薄く塗布して下さい。
・塗装中及び乾燥中は充分換気をして下さい。
・塗布後養生等をされる場合は、十分な乾燥を確認してからおこなって下さい。
・使用後の刷毛等は乾かないうちにいろはうすめ液で洗って下さい。

■ 塗装方法及び用具

工具：刷毛、ウエス（布）、スポンジ、コテバケ（推奨品）

1

素地調整

塗装前にサンドペーパー（#120～180）で木材表面の素地調整。サンディング後、ホコリ等を取り除きます。サンドペーパーで素地調整をすることで、塗料の吸い込み方が均一になり塗装の仕上がりが美しくなります。表面が荒れていると、吸い込みムラが生じることがあります。材種により吸い込みムラが激しいものもありますので塗装前の試し塗りによりご確認下さい。

2

塗装

「いろはカラー（着色タイプ）を刷毛またはコテバケで木目に沿って薄く（塗りすぎや溜まりができないように）塗り伸ばして下さい。

3

拭き取り

塗装後すぐに木材表面の余分な塗料分をウエスで十分（表面がサラッとするまで）拭き取ります。

4

塗装

換気をよくして12時間以上乾燥させ必ず2度塗りをして下さい。
工程2「塗装」と3「拭き取り」を行って下さい。
その後自然乾燥させて下さい。
※乾燥時間約12時間（低温、高湿度条件下では乾燥が著しく遅くなります。）
※標準使用量 50～70g／㎡（２回塗り）
※２回目は使用量が若干少なくなります。

■メンテナンス（再塗装）について

環境や気候にもよりますが、3～5年で塗布面の様子を見て、色や表面の劣化が見られるようでしたらいろは上塗りのメンテナンスをして下さい。この時期に一度上塗りをすることによりさらに耐候性はよくなります。

■取扱い及び保管上のご注意

・自然発火にご注意！塗装や拭き取りに使用した布（ウエス）やスポンジ、刷毛等は自然発火する恐れがありますので、そのまま放置せず、使用後ただちに焼却するか、水に浸して処分して下さい。
・火気のあるところでは使用しないで下さい。
・余った塗料は元の缶に戻さないで下さい。
・使用後はフタをきちんと閉め直射日光を避けて冷暗所に保管して下さい。
・容器中の残量が少なくなりますと塗料が固まることがありますのでお早めにご使用下さい。
・子供の手の届かない場所に保管して下さい。
・容器は中身を使い切ってから捨てて下さい。
・本来の用途以外には使用しないで下さい。